

小児がんの子どもの教育セミナー

平成29年10月に閣議決定された「第3期がん対策推進基本計画」の中で、小児・AYA(思春期・若年成人)世代のがん患者のサポート体制、特に高校教育の段階での取り組みが遅れている現状に触れ、入院中・療養中の患者に対して、教育現場や地域社会での受け入れ体制整備が求められています。

そのための施策として、医療従事者及び教育関係者の連携を強化し、両者一体となって療養中の生徒に対する特別支援教育の充実に取り組む必要があります。

今回、「小児がん患者に対する高校教育」をメイン・テーマとして取り上げ、教育関係者、医療従事者、患者など様々な立場の声を共有することを通して、小児がん患者が治療を受けながら安心して学業を継続できるような教育環境の整備に向けた連携の場とすることを目的としてセミナーを開催します。

開催日時 ▶ 平成30年3月17日(土)13:30～16:50

開催場所 ▶ 広島大学医学部 広仁会館 大会議室
〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

参加対象者

- ▶ 広島県内の小・中・高等学校および、特別支援学校教員、養護教諭等
- ▶ 教育委員会等の教育行政関係者
- ▶ 小児がん医療に携わる医療従事者
(医師、相談員等)

広島大学病院
(小児がん拠点病院)



主催 広島大学病院 (小児がん拠点病院)
共催・後援 広島県, 広島県教育委員会, 広島市教育委員会

プログラム

13:30 開会のあいさつ 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

- 第 1 部 - テーマ:小児がん患者の高校教育

司会 広島大学病院 小児科 教授 小林 正夫

13:40 講演1 「広島大学アクセシビリティセンターの関わり」
広島市立戸山中学校・戸山小学校 前校長
広島市立古市小学校 初任者研修指導 村田 吉弘 先生

14:00 講演2 「広島大学病院の現状」
広島大学病院 小児科 臨床心理士 井上 雅美 先生

14:20 講演3 「小児がん経験者の立場から」

14:40 休憩

14:50 講演4 「日本の現状と課題」
国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部
部長 新平 鎮博 先生

15:50 休憩

- 第 2 部 - パネルディスカッション

16:00 「小・中・高校教育のあり方を考える」
小児がん患者に対する教育のあり方について、参加者を交えた
意見交換を行います

16:40 閉会のあいさつ 広島大学病院 小児科 診療准教授 川口 浩史



参加申込書

平成30年3月17日（土）13：30～
 広島大学医学部 広仁会館 大会議室

送付先：E-mail byo-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp
 （送付状不要）

FAX 082-257-1720

機関名	
-----	--

参加予定者

	氏名	カナ	職名
1			
2			
3			
4			
5			

構内地図



◆広島駅から

・広島電鉄バス5号線

「大学病院」行き → 「大学病院（終点）」下車〔所要時間：約15分〕

・広島バス23号・23-1号線

「大学病院」行き → 「大学病院（終点）」下車〔所要時間：約30分〕

◆広島バスセンターから（紙屋町県庁前バス停まで徒歩）

・広島バス23号・23-1号線

「大学病院」行き → 「大学病院（終点）」下車〔所要時間：約20分〕